

市会議案第19号

名古屋出入国在留管理局収容中に亡くなったウイシュマ・サンダマリさんの死亡原因等の真相究明に係る情報開示を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和3年6月28日提出

吹田市議会議員 馬場慶次郎

同 西岡 友和

同 山根 建人

同 玉井美樹子

名古屋出入国在留管理局収容中に亡くなったウィシュマ・サンダマリさんの死亡原因等の真相究明に係る情報開示を求める意見書（案）

本年3月6日、名古屋出入国在留管理局に収容されていたスリランカ人のウィシュマ・サンダマリさんが亡くなった。出入国在留管理庁が作成した中間報告書によると、ウィシュマ・サンダマリさんは、昨年8月から同管理局に収容されていたが、本年1月に、おう吐や食欲不振などの症状のため、監視カメラ付きの単独室に移され、2月に、同管理局の医師の指示により、外部の病院で受診した。報道によると、その際、医師は同管理局に仮放免を勧めたが、同管理局が許可をせず、その後、亡くなったとのことである。

ウィシュマ・サンダマリさんの死亡原因の真相を究明するため、野党は、ウィシュマ・サンダマリさんが同管理局に収容されていた期間に撮影された、施設内の監視カメラの映像の開示を求めているが、政府はこれに応じていない。また、収容中に亡くなった経緯などを調査した最終報告書も、いまだ公開されていない。

このような不透明な収容手続が公になったことで、政府が今国会での成立を目指していた、外国人の収容や送還のルールの見直しなどを含む出入国管理法改正案について、国民から強い批判の声が上がり、その結果、政府は、本改正案の今国会での成立を断念した。

今回のような事案を二度と繰り返さないためにも、早急にウィシュマ・サンダマリさんの死亡原因の真相を究明する必要がある。これは、スリランカのモラトワ市と友好都市提携を結んでいる本市としても、切に願うものである。

よって、本市議会は政府及び国会に対し、下記の事項に早急に取り組むことを要望する。

記

- 1 ウィシュマ・サンダマリさんが名古屋出入国在留管理局に収容されていた期間に撮影された、施設内の監視カメラの映像を開示すること。
- 2 ウィシュマ・サンダマリさんが収容中に亡くなった経緯などを調査した最終報告書を速やかに公開すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年6月 日

吹 田 市 議 会